



フェスタ・ヨコハマの様子（詳細は 7 ページ）

目次

文学との出会いの場所	2
令和 5 年 9 月卒業証書・学位記授与式	4
令和 5 年度第 2 学期入学者の集い	5
フェスタ・ヨコハマの紹介	7
令和 5 年度第 2 学期「放送大学における勉強の仕方」講習会	9
K-サポートからのお知らせ	9
学生サークルからのお知らせ	10
神奈川学習センターからのお知らせ	12



文学との出会いの場所

放送大学神奈川学習センター客員教授

富岡幸一郎

放送大学（神奈川学習センター）での面接授業は、2022年と23年の2回をやることができました。本来ならば20年と21年が予定されていたのですが、新型コロナウイルスの感染拡大で残念ながら出来ませんでした。

22年は、日本の近代文学の作家と作品を取り上げて、近代日本語の生みの親である二葉亭四迷や夏目漱石などを紹介し、有島武郎の『或る女』、島崎藤村の『夜明け前』などの大作を取り上げました。限られた時間で大長編ともいえる作品を紹介するのはなかなか大変なのですが、受講者のなかにはあらかじめ読んできた方も少なくなく、また授業を受けてぜひこれから読んでみますという方々もあり、とても嬉しく思ったものです。

日本の近代文学は、明治維新後のこの国の近代化と歩みを一つにしています。社会や経済や産業、文化や風俗の「近代化」の根本にあるのは、コトバの近代化です。西洋の文物を取り入れることで国民国家を形成した日本は、新しい日本語（言文一致体）を創り、文学はそこで大きな役割をはたしました。汽車や工場、憲法や国会も、この近代の「文学」がなければ成立していません。

明治から大正へ。日本語は様々な作家や詩人たちの努力によって、さらに現代へとつながりながらコトバを生み出しました。本年度の面接授業では、「現代日本文学を読解する」

というタイトルで、戦後文学の大岡昇平や庄野潤三、石原慎太郎や古井由吉、村上春樹や湊澤龍彦など、普段読む機会がないだろう作家の作品を取り上げてみました。文学は、時代を映し出す鏡である。これは今日の文学作品にも当てはまると思うのです。

私の文学との出会い

2回の面接授業でいずれも取り上げた作家は三島由紀夫です。これには私自身の思い入れがあったからです。中学1年生の時、1970年（昭和45年）の11月25日に、三島由紀夫は市ヶ谷の自衛隊（当時）駐屯地で割腹自決をしました。彼が主催していた楯の会というグループの青年4人と共に陸上自衛隊の東部方面総監室を訪れた三島は、そこで総監を人質にして、バルコニーから自衛隊員に向かって憲法改正を訴えて、その直後に切腹し、楯の会の青年から介錯を受けて亡くなりました。その死は衝撃的であり、ノーベル文学賞の候補にもなっていた作家がなぜこのような自死を遂げたのかいまだに謎です。私はこの事件が起こったとき、三島由紀夫を知りませんでした。事件はちょうど昼過ぎに起こり、たまたま中学校の教員室に立ち寄った私は、先生方が教員室でテレビに釘づけになっていて、ふりむいた一人の先生が「ミシマユキオが切腹した」と興奮して私に言いました。ミ

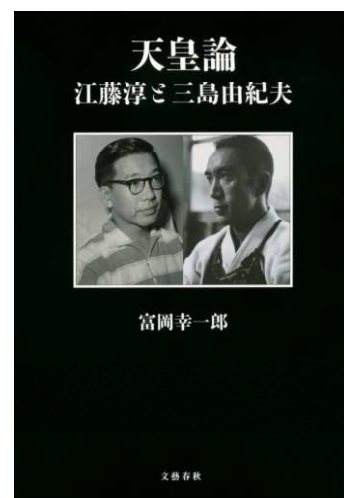
シマを知らない私は「青島幸男」と聞きちがえ（青島さんは当時テレビ番組で活躍していたタレントで、後に東京都知事となっています）、教室に戻ると級友たちにその名前告げて騒然となりました。午後の授業が始まり英語の時間だったのですが、その先生は授業をやめて三島の文学などについて語ってくれました。「なんでそんなえらい作家が自衛隊で切腹したのか」と私は不思議に思い、何週間かおいて本屋で積み上げられた三島由紀夫の小説を買い読んでみたのです。『美しい星』という三島文学ではめずらしいSF調の小説です。難しいのですが、以後、私は三島の小説を読み文学に関心を抱くようになったのです。放送大学の面接授業でこの話（ミシマとアオシマの取り違え）をすると、受講者の方々は笑ってくれます（ミシマもアオシマも知らない現役大学生にはこのネタはもうふり

ません）。私にとって 53 年前のこの事件は、文学との出会いとなりました。これも不思議なことだと思います。

文学との出会いの場所は、色々なところにあると思います。しかし何ととっても、図書館や街の書店でしょう。私がこうして本を読み始めたころには、街には多くの本屋さんがありました。東京の高円寺に住んでいたこともあり古本屋も多くありました。中野駅のサンプラザ（今度解体されるそうです）という公共施設には図書館があり、高校生のころには学校帰りにその静かな空中の一室で、ニーチェなどの哲学者の全集を（学校の勉強はそっちのけで）読んでいたことを思い出します。放送大学は全国の人々が、何か大切なものと出会うことができる貴重な場所だと思います。素晴らしい文学との出会いの場所となれば幸いです。



『入門 三島由紀夫』富岡幸一郎著 ビジネス社



『天皇論 江藤淳と三島由紀夫』富岡幸一郎著 文藝春秋

令和5年9月卒業証書・学位記授与式

9月24日（日）、令和5年9月卒業証書・学位記授与式が神奈川学習センターにおいて挙行されました。神奈川学習センターの卒業生・修了生は129名で、そのうち33名が出席されました。

大谷所長の式辞

皆様ご卒業、ご修了、誠に
おめでとうございます。
放送大学の教職員を代表し
て心よりお祝いを申し上げます。



大学を卒業するということの意味は何でしょうか。高校までの学びと大学での学びの一番大きな違いは、高校では決まった時間割り通りに勉強していればよいですが、大学では時間割りすら決まっていないというところが大きな違いです。特に放送大学は時間割りの自由度、自分が何を勉強するかという自由度の大きな大学だと思います。高校までは時間割り通りに与えられた知識を受け身で身につければよかったのですが、大学での勉強はまず何を身につけたいのかを決めるところから始まります。何を専門としたいのかということを決め、それに必要な基礎的な学問、何が知識として必要かということをも自分で考え、具体的な授業科目を並べて毎学期時間割りを決めて勉強を続けていこうということだと思います。つまり受け身では駄目で、自分で考えて自分で行動することが一番大きな違いだと思います。

本日卒業、修了される皆様は、それぞれ自らが能動的に選んで学ぶ力があるということを放送大学が認定したということだと思います。卒業で終わりとすることなく、今後も能動的に学びを深め続けていただけることに期待したいと思います。

アメリカの政治家で風を用いて雷が電気であることを発見したベンジャミン・フランクリンという人がいます。この人は、『もし財布の中身を頭脳につぎ込んだら誰も盗むことはできない。知識への投資がいつまでも最高の利子を生む。』と述べています。勉強しなさいということですね。また、20世紀の天才物理学者アルベルト・アインシュタインは、『学べば学ぶほど自分が何も知らなかったことに気

づく。気づけば気づくほどまた学びたくなる。』と述べています。アインシュタインのような人であっても学び続けたということだと思っていただきたいと思います。皆様もこの心意気でますますいろいろなことを学び続けていただいて、実りある人生を過ごしていただけることを期待しております。本日はご卒業、ご修了おめでとうございます。

金田同窓会会長の祝辞

今日のご卒業、ご修了誠に
おめでとうございます。



この卒業式あるいは学位記授与式というのは必ずしも毎年できるというわけではありません。これまでの学位記授与式で危機的状況が私がいる間でも2回ありました。1回目は2011年3月11日、東日本大震災ですね。学位記授与式をあと2週間後に控えて準備を整えていた矢先でした。巨大な地震、津波、原子力発電所の被災の三重苦となりまして、2週間後のNHKホールでの学位記授与式は行うことができなくなりました。時の神奈川学習センターの渡邊慎介所長は、「神奈川学習センターは何としても学位記授与式を行います」と号令をかけ、同窓会、学生も立ち上がり、学位記授与式を何とか行い、学習センター一丸となって乗り切ったことがありました。

その後の10年間は、先輩方の努力が花開きまして素晴らしい10年になりました。喜んでいた矢先、2020年、学位記授与式の第2回目の危機的状況です。新型コロナウイルスの感染が3月になって急拡大して学位記授与式を中止せざるを得なくなり、センターの施設利用も制限されました。

皆様方の中には、このセンターに数回しか来たことがないという方も中にはいらっしゃるかもしれませんが。しかし大学というのは学問ばかりではなく人格形成の場でもありますから、ぜひ卒業しても再度入学してサークルやゼミあるいは同窓会などに入って生涯学習を行っていただきたいと思います。この卒業は一里塚と考えて、次の二里、三里へとお互いに頑張ってまいりましょう。同窓会も一緒に頑張っ

大矢客員教授の祝辞

皆様、ご卒業、ご修了、
どうもおめでとうございます。
私は生活化学という分野を専門としておりまして、本日は生活という観点から皆様にエールをお送りさせていただきたいと思います。



さて、生活って今どういう風になっているかというと、便利、そして効率的、快適さを求めてきたわけです。その中で例えば電車の中で見かける若い人たちが、そんな便利で快適な社会で幸せそうな顔をしているのかなという、あまりそうではない。ちょっとイキイキしているのかなという、スマホでゲームをやっているとき。そう、快適さなども大切だけれども、でもそれよりもさらに先の幸せというのは、例えば頭の刺激や知的な欲求、そこが一番だなと感ずることが多いです。スマホでゲームをするということと、自分の意思で学びましょうということとを比べたならば、どう考えても皆様のとった活動、知的欲求に従ってそれを突き進んでいくということ、これが非常に素晴らしいことです。またそれが次の世の中で目指すべきものなんだというようにことが見えてくるかと思います。

皆様はその次の世界、その中の最先端を行かれました。そしてその楽しみや経験などを、ぜひまた他の人たちにも広げて、日本の社会で心豊かに知識を楽しみながら暮らしていける、そういう社会に変えていこうというようなことでやっていただけたらと、私の方からエールという形で皆様をお願いを申し上げました。これからも皆様どうぞご活躍ください。

富岡客員教授の祝辞

ご卒業、ご修了、本当に
おめでとうございます。私は専門が日本の近代文学、現代文学で、面接授業では明治以降の作家を取り上げたりしてまいりました。新型コロナウイルスの影響もあり面接授業ができたのは2年間と短い期間でしたけど、直接お話ししたり、一緒に本を読んだりして、とても楽しい時を迎えることができました。



一番最後の授業のときにレポートを書いていただくことをお願いしました。結構長い長編小説、例えば、有島武郎の或る女、三島由紀夫の豊饒の海、島崎藤村の夜明け前など、文庫本で何冊もあるような作品も取り上げました。提出された皆さんのレポートで、今まだ全部読んでないけれどもぜひ読んでみたい、あるいはすでに読まれてた方が、講義を聞いてもう一度読み返してみたい、という言葉がかなり多くありました。大変、私は嬉しく思いました。繰り返して、そしてまた時をおいてそのような素晴らしい作品を読み返してみる。これが本当に文学の醍醐味じゃないかなというふうに思っております。

先ほど先生方の言葉で、本当に勉強というのは、生涯その勉強を続けるその貴重さという話がございました。何よりも皆様がこの放送大学で、そのようなご体験をされたというふうに思います。ますますのご研鑽をお祈りいたします。またどこかでお会いできることを楽しみにしております。本当に今日はおめでとうございます。

令和5年度第2学期入学者の集い

10月7日(土)、Zoomを利用したオンラインで令和5年度第2学期入学者の集いが開催されました。式典のほか、新入生オリエンテーション、K-サポートや学生サークルの説明が行われました。

大谷所長の式辞

皆様、ご入学おめでとうございます。放送大学のメインの授業形態は放送授業ですが、放送授業での学習は一人で集中できる反面、どうしても孤独にな

りがちだと思います。学習センターには、対面授業、あるいはゼミや学生のサークル活動など、教員あるいは学生同士で交流する機会が用意されています。仲間を見つけることも学習を継続していく上で力になるとしますので、ぜひセンターに来られて友達を見つけることをさせていただくとよいと思います。

ところで、放送大学には決まった時間割りはありません。自分の学びたいことについて、自分で卒業までのスケジュールを作り、スケジュールに沿って

単位を積み重ねていくということが求められています。自由ではありますが、誰かがスケジュールを管理してくれるわけではないということが、高校までとは大きく違うことだと思います。入学された今の決意を忘れることなく、皆さんが思い描くスケジュール通りに学びを進められ、卒業を迎えられることを期待しております。

来年度からは面接授業の一部として、BYOD (Bring Your Own Device) の授業も始まることとが予定されています。いわゆる ICT、情報通信技術ということに対して不慣れで抵抗をお持ちの方もおられるかもしれませんが、ICT は既に義務教育段階から教えられており、大学生はある程度の ICT 技術を持っていると見なされる時代になってきていると思います。大学生活の基盤技術として ICT を使いこなせるようになる努力をお願いしたいと思います。

「入学資格は学びたい気持ち」というのが放送大学のキャッチコピーになっております。放送大学は学びたいという気持ちを持ち続けている人を応援しています。今の皆さんはそのような気持ちでおられることと思いますので、これからもその気持ちを持ち続け、学び続けていただきたいと思います。

金田同窓会長の祝辞

ご入学誠にありがとうございます。神奈川学習センターはサークル活動が盛んなところです。入学されたら、各サークル活動にも積極的に参加されるよう推奨します。私は定年退職後、放送大学に入学し4年半で卒業しました。その間、サークルにはいろいろなキャリアの方々がおりまして、私は忘れかけていたパソコンの操作などいろいろ教わりました。

その卒業の時、これだけは大事なことからぜひ覚えてほしいと言われたことがあります。一つは、行くところがある。二つ目は、会う人がいる。三つ目は、やることがある。という三つです。この三つの言葉を実現できました。落ちこぼれない楽しい大学生活、あるいは人生を送ることができます。学習センターにはそれができる条件がそろっています。それから、会う人がいる。これは授業、あるいはゼミ、サークル、そういったところに参りますと、いろいろな方とお話ができます。そして、やることがある。これは先生や友人と話しておりますと、実に

知らないことばかりなんですね。何をしなければならないか、徐々に焦点が絞られてきます。

さて、ICT の時代になり、ほとんどセンターに足を運ばなくても、通信だけでも卒業できる時代になりつつあります。独学でも卒業は可能かもしれませんが、大学は学問の場ばかりではありません。同時に人格形成の場でもあります。時には面接授業を受けたり、ゼミやサークルの仲間と一緒に時間を共有しますと、意識することなく三つの言葉を実践することになります。苦悩することなく、いつの間にか卒業することもできるようになります。

さあ、希望の大学に入学しました。皆と一緒に進みましょう。本日はおめでとうございます。

廣田客員教授の祝辞

皆さんご入学おめでとうございます。新しく学びをスタートさせる方、それから引き続き学び続ける方もいらっしゃるかと思いますけれども、一つ学ぶ上でアドバイスをしていきたいと思います。



昨今では、IT 技術が発展していろんな知識、情報をパソコンあるいは携帯などで検索すれば手に入れることができます。フェイクの情報も増えているということで、真偽を確認するリテラシー能力というものが必要とされてきていますが、以前と違って学びたいということであれば、ネットを通じて知識を獲得して学びを進めていくということも可能な時代になっているわけです。そういった中で、オンライン授業も発展してきているわけですが、対面授業をすることの意味は何でしょう。それはやはり、直に教員と受講生が触れ合う中で、受講生がいろんな獲得した情報、知識、これは教科書、参考書、あるいはさまざまなネット情報もありますが、そのような知識から出てくる疑問、質問、そのようなものを教員に投げかけて、そして教員と一緒に考えるということが大切なのだと思います。学ぶ上で質問する能力を培うというのは非常に大切なことだと思います。これからいろんな本を読んだ後、質問をひねり出し、紙にでも文章化し、自分の頭を整理し、そして学びを進めていくことをやってほしいと思います。ご入学おめでとうございます。

フェスタ・ヨコハマの紹介

放送大学神奈川サークル協議会会長 木下義則

4年ぶりのフェスタ・ヨコハマ

放送大学神奈川学習センター学園祭「第34回フェスタ・ヨコハマ」を神奈川サークル協議会主催、放送大学神奈川学習センター後援で2023年9月3日（日）に開催しました。センター設立当初から開催され長い歴史があり学生たち自身の手づくりという伝統のある学園祭ですが、コロナ禍でやむなく開催を見送ってきた2020年からの4年間でしたが早い時期の復活開催を望んでおりました。コロナ禍以前は土日の2日間をフルに使った開催でしたが、今回は1日の短縮での開催となりましたが学生・同窓生の交流が久しぶりに実施できたことは大変嬉しいことです。

今年のフェスタ・ヨコハマの開催の中心企画は大谷神奈川学習センター所長の記念講演会と弘明寺音楽祭です。それを中心に開催報告を含めフェスタ・ヨコハマの紹介をしたいと思います。

記念講演会

冒頭、神奈川同窓会の金田会長より「本日の講演内容は石油化学プラントにおけるリスクマネジメントとなっておりますが、一般的にリスクに備えること、我々の生活にも応用できることなどを分かり易くお話しいただけることと思います。また、大谷センター長は面接授業やゼミを担当されていますので興味を持たれた参加者の皆さまはご参加いただきたいと思います。」とのご挨拶があり記念講演会が開講されました。

大谷センター長は昨年4月に着任され、その後コロナ禍のため講演会の講師としてお願いすることができませんでした。フェスタ・ヨコハマの企画案を検討する際に記念講演会講師を依頼する筆頭でした。

記念講演会の演題は「石油化学プラントにおけるリスクマネジメント」でリスク対処という観点から、埼玉県で平成7年に起きた油圧装置の爆発事故と、千葉県で平成4年に発生した熱交換機の爆発事故について詳細に事故概要、事故の分析内容とそこからの教訓等を説明され、リスクアセスメントによる安全管理についての問題点から「社会的に受容されるリスクの大きさ」と「ヒューマンエラーをリスクアセスメントにどう反映するか」の2点について解説をされました。受容できないリスクの大きさについての例示として個人死亡率が0.000001を超える部分は受容できないリスクと認識し、オランダの例では工場設置の際に個人死亡率等高線を作成提示し、該当する等高線があると設置が認められない、とのお話をされました。事故原因別の割合についてヒューマンエラーの割合が高いことを例示しリスクアセスメントへの反映についてお話をされました。質問への回答で「安全と安心は違うとよく言いますが、皆が安心と思わなければ安全ではないという意識を持たなければならない」とのお話が印象的でした。

最後は時間の関係で質疑応答の時間があまりとれず残念でしたが、会場の参加者から感謝を込めて花束を贈呈して記念講演会を閉講いたしました。

弘明寺音楽祭

続いては、学園祭において初めてのイベント企画内容である、弘明寺音楽祭を実施しました。サークル協議会傘下の音楽系のサークルである「神奈川合唱団」、最後にジャズバンドとコラボした「ダンスサークル」と神奈川放友会の会内サークルとして活動する「神奈川放友会音楽部」など、学生が参加する7団体が6プログラムでいろいろなジャンルの音楽に日頃の練習の成果を発揮しました。演奏者と会場の観客が一体となり盛り上がった音楽祭が開催できたと思っています。

以下に演奏プログラムを記載します。

1. 神奈川合唱団
愛燦燦、お祭りマンボ、翼をください、君をのせて
2. マハロウクレレ（大岡地区センターで活動するサークル）
ふるさと、知床旅情、カイマナヒラ、真珠貝の歌、アロハオエ
3. ピアニシモギターアンサンブル（人間学研究会）
糸、フルートソナタ第1楽章アダージョ、フルートソナタ第3楽章アンダンテ
4. 濱田+浜二胡会（大岡地区センターで活動するサークル）
草原情歌、アリラン、いつも何度でも、上を向いて歩こう
5. 神奈川放友会音楽部
海に見える街、糸、All My Loving、Imagine、夢の中へ
6. ダンスサークル+For - you
ウエーヴ、酒とバラの日々、見上げてごらん夜の星を、エデンの東

最後に

最初に記載したとおり1日の短縮開催となりましたが、今まで紹介した内容のほかに「映画鑑賞会」「サークル紹介・作品展示コーナー」を催しました。

今回開催の一つの特徴として、記念講演会と弘明寺音楽祭を Zoom によるオンライン配信を実施し会場に来ることのできない参加者も楽しむことができたことではないでしょうか。コロナ禍からポストコロナ時代にスタンダードとなったハイブリッドのイベント開催の成果であると思います。

私たち神奈川サークル協議会は、徐々に開催内容を充実しコロナ禍前のレベルまで早く復活させることとともに、皆様の学生生活がより豊かなものになることを目的にフェスタ・ヨコハマ以外にも学生が交流できるイベントの企画に取り組んでまいります。

今後ともよろしくお願いします。



令和 5 年度第 2 学期「放送大学における勉強の仕方」講習会

10 月 21 日（土）、大谷所長による「放送大学における勉強の仕方」講習会を、2023 年度第 2 学期入学の神奈川学習センター所属の学生を対象に、Zoom を利用したオンラインで開催しました。14 名の学生が参加されました。講習会で使用した説明資料は、右の QR コードまたは以下の URL からダウンロードすることができます。

https://www.sc.ouj.ac.jp/center/kanagawa/news/upload/2023-2_benkyounosikata.pdf



K-サポートからのお知らせ

K-サポートは、神奈川学習センターや所属する学生を支援する活動を行っています。

「パソコン初心者塾」（本記事に続く左側のパンフレットをご覧ください）は、1 月上旬時点で 2 月 3 日（土）と 24 日（土）の申込みを受付中です。学習センター 1 階ホールのつきあたりのカウンターに詳しい資料や申込書、申込書入れが設置されています。

また「科目登録学習相談会」（本記事に続く右側のポスターをご覧ください）は 2 月 25 日（日）に開催いたしますが、申込みは要りません。16 時までに 2 階の第 4 講義室に直接お越しください。

いずれも皆さまのご参加をお待ちしています。

（K-サポート事務局）

パンフレット

2023 年度 2 学期

K-サポート

パソコン 初心者 塾

無 料

【支援内容】

ネット配信授業の視聴

Web 単位認定試験

パソコン基本操作

チャット AI 等

通信指導提出 (Web)

科目登録申請 (Web)

Word Excel PowerPoint

【使用パソコンなど】

☆ パソコン

☆ ノートパソコン

☆ タブレット

信用

(スマホ)

個人持参 (推奨)

【運営体制】

パソコンサポートチーム
『学生のボランティア』

受講生支援 企画・運営
学習センターとの調整
塾参考書作成など

神奈川学習センター

パソコン・実習室の提供
Wi-Fi の提供 申込受付
資料印刷など

【対象】 放送大学の学生（注）で
パソコンなど経験無の方 又は 放送大学ホームページ等
が利用できない方 又は Word・Excel・PowerPoint の初心者

（注）他学習センター（SC）所属の学生の申込み：参加者が多く神奈川 SC 所属の学生の参加に支障をきたす場合は、他 SC 所属の学生は参加できない場合もあります

【参加料】 無料

申込必要・欠席連絡厳守！

裏面へ続く

科目登録 学習相談会 のお知らせ

日時：2024 年 2 月 25 日（日）

時間：13:00～17:00（受付 16:00 まで）

場所：2F 第 4 講義室

必要であれば、1F 実習室 に移動

⇒ 2024 年度 1 学期に登録する科目の
Web 手続きについてのご相談

📱 登録手続きのサポート

申込：直接、2F 第 4 講義室の相談会場に
お越しください（予約不要）



学習相談チーム

学生サークルからのお知らせ

※サークルの活動内容や加入等に関するお問い合わせは、下記の各サークルの連絡先にお問い合わせください。神奈川学習センターではお答えすることができません。

現時点でも、学習センターの利用制限等により、平常時の活動と異なった部分があります。

○神奈川放友会

◆1985 年神奈川学習センター開設と同時に創立。
「共に学び、人間的交流を深め、奉仕によって社会とつながる」ことを理念として、現在 110 余名の会員が、学内・学外活動に積極的に参加しています。

◆23 年度後期行事予定

11 月 秋の学外活動 小網代の森ウォーキング

12 月 忘年会・ディナーコンサート

2 月 冬季例会 トーキング交流会「私と勉強」

3 月 花見・卒業祝賀会 山下公園・中華街

◆詳細は、HP;<https://kanagawa-hoyukai.jp> にて

◆問合せは、事務局 真野 mano.ken@nifty.com へ

○韓国語同好会

★目的 韓国語の日常会話を習得し、韓国放送通信大学日本学科との日韓文化交流を通して日韓相互の生活、歴史、文化への学びを深めることを目的としています。

★定例会 2 回/月

①第1土曜日 9:30～11:45 大岡地区センター

②第3土曜日 10:00～12:00 Zoom(リモート)

授業&親睦会(国際交流を目的に会員以外の有志参加可)

★2023 年 秋の親睦旅行 11 月末～12 月初旬、瀬戸内・安藤忠雄、アートの島「直島」訪問計画中。

★問い合わせ サークル協議会ホームページ
<https://kcc-ouj.net/dantai/hanguo/> (村田)

○資格取得研究会

看護・福祉分野(心理や教育系も含む)のキャリアアップや進学・就職を目指す集まりです。目標の資格は、正看護師、看護学士、認定心理士など。例会は、ひと月に 1 回、土曜または日曜に開催。情報交換が中心。オンライン例会計画中。

★会費: ¥500(1年間)

★ホームページ… <http://shikaku.yumesora.net>

★お問い合わせ…080-5546-7913(はこぎき)

○人間学研究会

★「目的:人間の本質的・実質的なあり方について、多面的視野から学習。会員の交流と親睦を図る」
会員 62 名(男性 36 女性 26)

*月例会:卒業研究・旅行経験発表・茶話会・外部講師講演

1 月 13 日(土)12:30～ 第 8 講義室

会員発表『南蛮貿易は何故長崎だったのか』

2 月 3 日(土)12:30～ 第 3 講義室(会員発表)

★会誌:せせらぎ 34 号発行

★ウォーキング

★お問い合わせ:片野賢治

mt.dream@jcom.home.ne.jp

○うえるかむ Kanagawa

私達は英語を楽しみながら学んでいるサークルです。

*例会は原則、毎月第 2、第 4 水曜日。現在、Zoom を利用したオンライン開催(上級は学習センターにて対面)

*外国人講師の英会話レッスン(10:00～11:30)

(参加費有料、初中級・上級の 2 クラスに分かれ、各 45 分)

*Group Study(13:30～15:30)

(入門・中級・上級の 3 クラスに分かれ学生同士で学ぶ)

*スクラブルデイ:第 2 金曜日 1 時半より対面

*年会費:現在は無料(通常は年 1,000 円)

*ホームページ

<https://welcome-kanagawa.jimdofree.com>

*問い合わせ

金子 響(e-mail:kaneko-toyomu@outlook.jp)

○放たかながわレク・サークル

★サークル活動:放送大学生との「仲間作り」とウォーキング等の「健康づくり」

★例会:2ヶ月に1回(含、映画鑑賞会)

★ウォーキング:2ヶ月に1回、「日光街道」実施中。名所旧跡文化施設等も対象。

★その他観劇、観光、映画、美術鑑賞等。

上記の各種活動はいずれも自由参加。

—会員募集中(随時申込・受付)—

★問合せ:島田 義治 Tel 090-3907-8384

E-mail bunsima829@gmail.com

○ダンスサークル（社交ダンス）

ダンスはスポーツ！人生 100 年時代に向けて健康増進、素敵な姿勢、ストレス解消に是非一緒に踊りましょう。コロナ前には 20 名でしたが現在は 8 名、優秀なインストラクターの元で毎回楽しくレッスンに励んでいます。

未経験者大歓迎です！ 先ずはお気軽に見学にお出で下さい。

★神奈川学習センター第 7 講義室 ★毎月 2 回、原則第 2 と第 4 火曜 13:30～15:30

★会費 1500 円/月、年会費 1000 円 ★ダンスパーティーで踊れるレベルへ練習(モダン、ラテン)

★連絡先 中村健 tarumakan0904n@gmail.com

○スペイン語研究会

★目的:西語日常会話習得と西語圏歴史・文化を学ぶ。

★活動:月 2 回(第1・第 3 金曜日)。

★会費:初級 月 1,000 円 中級 月 2,000 円

★内容:ペルー人女性講師による日常会話習得、日常会話学習後における会員相互の学習会
会員・ゲストスピーカーによる西語圏研究発表・講演。

★入会申込み: <https://cdek.yokohama/>

★連絡先:会長・中田博久

E-mail: cdek-yakuin@googlegroupes.com

○中国語学習会

中国語でチョット挨拶ができればなあとか、前から中国文化に興味あったけどという方。ニーハオ！中国語学習会です。中国人の先生と和気あいあい、一生懸命勉強しています。初めてでも、昔勉強した人も、大歓迎です。一緒に学ぶ仲間がいるのは心強いですね。第 2・4 日曜日の午前と午後、学習センターで、ぜひあなたも一緒に。

詳細は、下記までお問合わせください。

elcondor@ra2.so-net.ne.jp: 近藤または、
tomomama4213@docomo.ne.jp : 細矢まで。

○神奈川合唱団

★合唱未経験者歓迎

★合唱を愛好する皆さんと一緒に音楽を通して学生生活をエンジョイするサークルです。現在 30 有余名の学生が合唱を楽しんでいます。

★2022年度は、港南ラウンジ祭り(ひまわりの郷)で <贈る言葉> <竹田の子守唄>を

歌いました。

★指導は、発声・歌唱を清水一成先生（プロのオペラ歌手

ピアノ伴奏を新井ゆう子先生のご指導で練習に励んでおります。

☆場 所：大岡地区センター 音楽室 2 階
（放送大学神奈川 SC の斜め前のビル）

☆練習日：毎月 第 2・4 水曜日 18:30～20:30

☆連絡先：nobukishi0429@gmail.com

○歩・歩の会（地球研）

目的：地球科学ゼミ（有馬ゼミ）を発展的に解消し、結成されたサークルで、地球科学をベースに自然を学び「人新世（Anthropocene）」における地球環境危機について考え、SDGs に寄与していきたい。

活動：毎月一回程度

活動場所：三浦半島海岸、伊豆大島、丹沢山地、伊豆東部単成火山群の地質、地層の観察、各地の Geo Site 行脚。

☆ご興味のある方はご連絡ください。（代表：吉岡・中澤）

e-mail earth.hoho.kanagawa@gmail.com

神奈川同窓会だより

【第 73 回弘明寺サロンのご案内】

神奈川同窓会では、下記の行事を開催します。
講師は、パソコン初心者塾(9ページ参照)の主任講師鈴木康年さんです。学生・同窓生みなさまの参加をお待ちしています。

記

日時:2024 年 2 月 10 日(土)13:30～15:30

演題:インターネットセキュリティについて(仮)

講師:鈴木康年さん

会場:神奈川学習センター第3講義室

詳細は、後日発表します。ポスターや、ホームページ(<https://hato.net>)でご確認ください。

OUJ神奈川学習センターだより編集部

家田、伊藤、入江、遠田、笠井、吉川、木下、宮崎、
三国(以上、K-サポート機関紙編集チーム)

垣谷(K-サポート事務局)

中ノ園(学習センター事務室)

神奈川学習センターからのお知らせ

オンライン公開講演会のご案内

下記の通り、客員教授を講師とするオンライン公開講演会を開催いたします。オンライン会議システム Zoom を利用して開催します。神奈川学習センターウェブサイトから申し込みが可能です。皆様のご参加をお待ちしております。

演題：これからの地域エネルギーシステムを考える

ー都市づくりに求められる脱炭素と防災の視点からー

講師：佐土原 聡 先生

放送大学神奈川学習センター客員教授

横浜国立大学名誉教授

日時：2024 年 1 月 27 日（土）13:30-15:00



↑こちらの QR コードからも
お申込みいただけます

気候変動が深刻化し、地震・風水害が激甚化している今日、脱炭素社会の実現、災害時の供給継続が可能なエネルギー供給のしくみが求められています。こうした中で、従来の大規模集中型から地産地消の分散・連携型が構築されていく地域エネルギーシステムのこれからの、身近な都市域を対象に考えます。

2024 年度からの授業料等の改定について

2024 年度から以下の通り授業料等が改訂されます。

学部・課程	授業料(1 単位当たり)	研究指導料(1年間当たり)
教養学部	5,500 円 → 6,000 円 (+500 円)	—
大学院修士課程	11,000 円 → 12,000 円 (+1,000 円)	88,000 円 → 96,000 円 (+8,000 円)※1
大学院博士後期課程	44,000 円 → 48,000 円 (+4,000 円)	352,000 円 → 384,000 円 (+32,000 円)※2

※1 2023 年度以前に修士全科生として入学した方は、入学時にすでに 2 年間（4 学期間）分の研究指導料をお支払いいただいています。この場合は、研究指導料の追加の支払いは特に必要ありません。ただし、2 年間（4 学期間）で研究指導に合格できなかった方が 2024 年度に新たに研究指導を科目登録する場合には、改定後の研究指導料が適用されます。

※2 2023 年度以前に博士全科生として入学した方の 2024 年度分の研究指導料は、改定前の研究指導料が適用されます。ただし、3 年間（6 学期間）で研究指導に合格できなかった方が 2024 年度に新たに研究指導を科目登録する場合には、改定後の研究指導料が適用されます。

radiko（ラジコ）の 2023 年度末配信終了について

放送大学ラジオ（BS531ch）の放送番組は、radiko（ラジコ）で同時配信等を行ってきましたが、2024 年 3 月 31 日をもって radiko での配信を終了することとなりました。

2024 年度以降は、BS531ch およびシステム WAKABA において、これまで通りすべての科目をご聴取いただけます。

実習室のパソコン、プリンター廃止について

2024 年 3 月末頃に、実習室のパソコンとプリンターが廃止されます。これまでパソコンを使用して実施する面接授業は実習室のパソコンを使って実施してきましたが、2024 年度第 1 学期以降、パソコンを使う面接授業は、受講者ご自身にパソコン等を持参して受講していただくことになりました。

また、これまで面接授業等のない時間帯は学生が実習室のパソコンを使用することができましたが、端末の廃止後は使用できなくなります。

なお、視聴学習室の Chromebook は 2024 年 4 月以降も維持されますので、学習センターでの放送授業の視聴は引き続き可能です。